

# 試験結果報告書表紙

・・・・・・・・・・・・・・・・ 肌の保湿効果測定試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・  
・・・・・・・・・・・・・・・・ 筋肉の硬度測定試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・  
・・・・・・・・・・・・・・・・ 水の電気伝導率測定試験 ・・・・・・・・・・・・・・・・

令和4年1月7日

株式会社 ハッピートーク殿

健康コントロール研究会

ご依頼頂きました表題の件につきましてご報告申し上げます

記

報告書 No. R4-1-07-001

本件に付きましてお問い合わせは下記にご連絡ください

健康コントロール研究会 寺岡文雄  
636-0105 奈良県生駒郡斑鳩町東福寺 1-5-31  
Tel&Fax : 0745-74-5590  
携帯電話 : 090-7352-2890  
E-mail : teraokaf@m5.kcn.ne.jp

# 試験結果報告書

No. R4-1-07-001

令和4年1月7日

健康コントロール研究会  
奈良県生駒郡斑鳩町東福寺 1-5-31

## <実験 1>

試験項目 肌の保湿効果と肌の pH 測定

供試試料 ゼロ磁場全身化粧水、全身化粧水（コントロール）  
ゼロ磁場マッサージローション（ラベンダー）、  
マッサージローション（コントロール）

測定条件 ①測定日時 令和3年12月19日～令和4年1月19日  
②温湿度 20.1℃ 53%  
③被検者 41歳女性  
④測定機器 肌チェッカー Real Bubee RBX-916  
サトテック デジタル pH メーター YK-21PH  
⑤測定部位 左右の頬  
⑥測定回数 各条件で3回測定し、その平均と標準偏差を求めた。

測定方法 供試試料塗布前の左右の頬の水分量、油分量、弾力および pH を測定した。  
次に、左の頬にコントロールとして全身化粧水および右の頬にマッサージローションを塗布した後、頬の各値を測定した。1日後コントロールと同様にゼロ磁場全身化粧水およびゼロ磁場マッサージローションを塗布した後、頬の各値を測定した。頬の各数値の測定は3時間（短期）および4週間（長期）行った。  
短期は1, 2, 3時間ごとに測定した。長期の場合は毎日午前中に一回塗布し、6時間後に測定し、4週間行った。

## 結 果

- 1-1. 短期（3時間まで）のゼロ磁場全身化粧水とゼロ磁場マッサージローションを塗布した肌の水分量、油分量、弾力と pH を表 1-1 および表 1-2 に示す。  
図 1-1 と図 1-2 にゼロ磁場全身化粧水とゼロ磁場マッサージローションおよびコントロールを塗布した肌の水分量と油分量を示す。

表 1-1 ゼロ磁場全身化粧水を塗布した時の肌の短期間の変化

測定時間 (時間)	ゼロ磁場全身化粧水				コントロール			
	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH
0	30.7 ±2.1	22.3 ±1.5	49.7 ±1.5	6.6 ±0.2	30.3 ±2.1	23.3 ±1.5	51.3 ±2.1	6.5 ±0.1
1	56.0 ±1.7	23.7 ±2.1	60.3 ±1.5	6.1 ±0.2	51.7 ±3.8	22.0 ±1.0	56.7 ±1.5	6.3 ±0.2
2	55.0 ±1.0	24.0 ±1.0	62.7 ±1.5	4.9 ±0.2	51.7 ±2.1	22.0 ±1.1	57.0 ±2.0	5.1 ±0.1
3	55.7 ±0.6	23.3 ±0.6	62.7 ±2.1	4.9 ±0.1	52.3 ±1.2	22.3 ±1.5	55.7 ±2.5	5.5 ±0.2

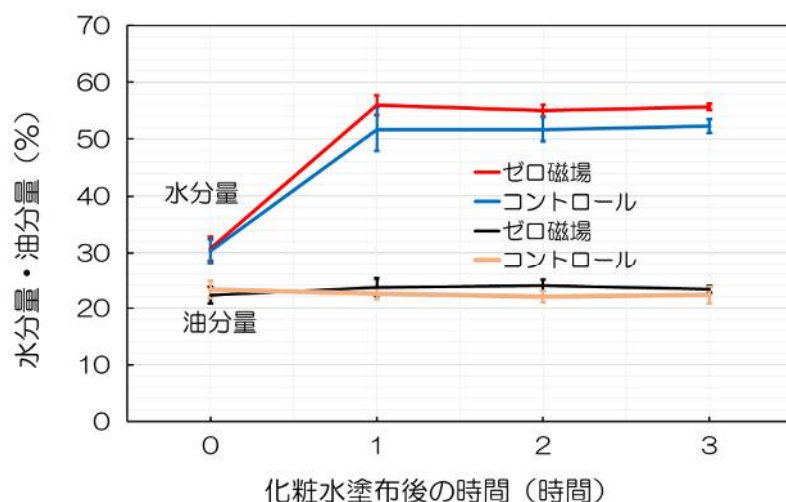


図 1-1. 化粧水を塗布した時の頬の水分量と油分量の変化 (短期)

表 1-2 ゼロ磁場マッサージローションを塗布した時の肌の短期間の変化

測定時間 (時間)	ゼロ磁場全身化粧水				コントロール			
	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH
0	31.0 ±1.0	22.3 ±1.5	50.3 ±0.3	6.5 ±0.2	30.7 ±2.3	23.7 ±1.2	51.7 ±2.3	6.6 ±0.3
1	44.7 ±2.5	33.3 ±1.5	65.0 ±1.0	6.0 ±0.1	43.7 ±1.5	31.3 ±0.6	60.0 ±1.0	6.3 ±0.1
2	50.0 ±1.0	34.8 ±1.5	67.7 ±2.1	4.7 ±0.2	46.7 ±0.6	32.0 ±1.0	60.0 ±2.0	5.1 ±0.1
3	51.3 ±1.5	35.0 ±2.0	69.3 ±1.5	4.9 ±0.1	45.5 ±2.0	32.3 ±1.5	56.3 ±2.5	5.5 ±0.2

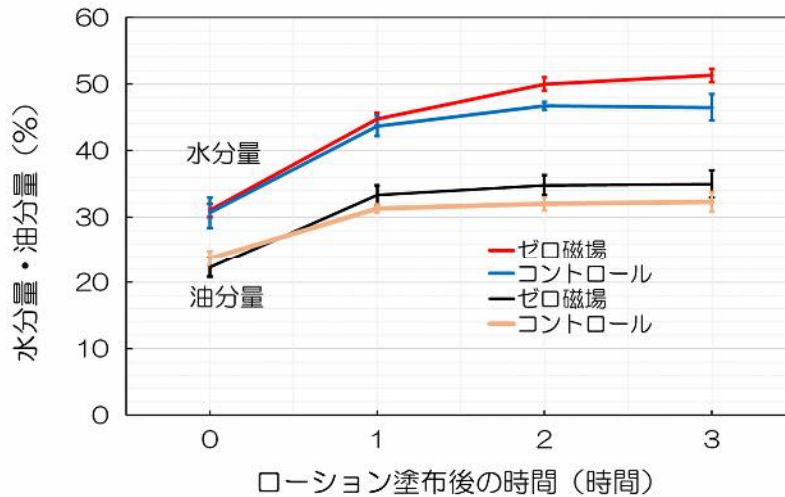


図 1-2. マッサージローションを塗布した時の頬の水分量と油分量の変化（短期）

### 《短期（3時間）のまとめ》

ゼロ磁場全化粧水とゼロ磁場マッサージローションはコントロールと比較して水分量と油分量は増加していた。被検者は冬期の条件もあるが乾燥肌で水分量は少なく pH も高かったが、ゼロ磁場全化粧水とゼロ磁場マッサージローションを塗布した場合には2時間後には適正な pH に回復した。また、弾力は1時間後に高くなった。

1-2. 長期（4週間まで）のゼロ磁場全身化粧水とゼロ磁場マッサージローションを塗布した肌の水分量、油分量、弾力と pH を表 1-3 および表 1-4 に示す。図 1-3 と図 1-4 にゼロ磁場全身化粧水とゼロ磁場マッサージローションおよびコントロールを塗布した肌の水分量と油分量を示す。

表 1-3 ゼロ磁場全身化粧水を塗布した時の肌の長期間の変化

測定時間 (週)	ゼロ磁場全身化粧水				コントロール			
	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH
0	30.3 ±1.5	23.0 ±1.0	50.0 ±2.0	5.7 ±0.3	30.3 ±2.1	24.0 ±1.0	51.3 ±2.1	5.3 ±0.2
1	65.0 ±3.0	28.7 ±1.5	63.0 ±3.6	4.8 ±0.2	53.0 ±1.5	26.7 ±1.5	58.0 ±2.6	4.9 ±0.2
2	69.0 ±1.0	32.3 ±1.5	67.7 ±0.6	4.6 ±0.2	61.0 ±4.6	29.0 ±1.0	57.3 ±1.5	5.7 ±0.2
3	69.0 ±2.0	32.3 ±1.5	60.3 ±1.5	4.8 ±0.1	60.7 ±1.2	29.0 ±1.0	57.7 ±2.5	4.8 ±0.1
4	68.7 ±2.1	32.0 ±1.0	70.7 ±1.5	4.6 ±0.2	61.0 ±2.0	29.7 ±1.5	60.0 ±1.0	5.0 ±0.1

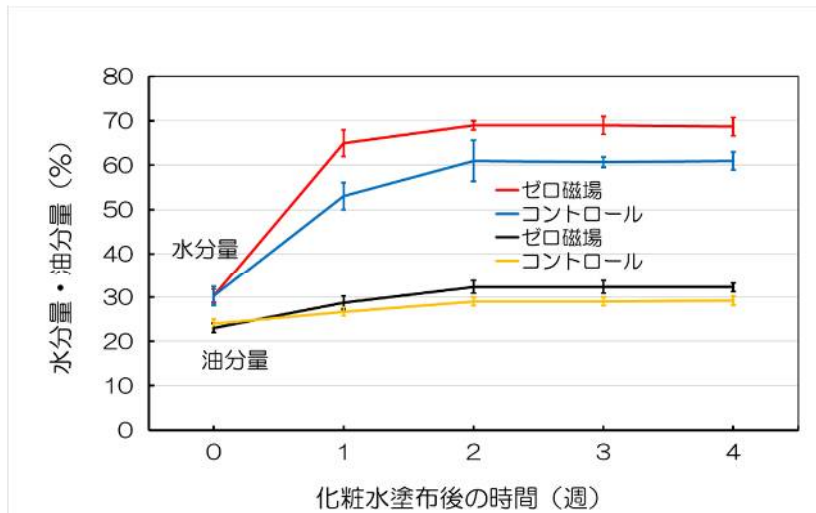


図 1-3. 化粧水を塗布した時の頬の水分量と油分量の変化 (長期)

表 1-4 ゼロ磁場マッサージローションを塗布した時の肌の長期間の変化

測定時間 (週)	ゼロ磁場マッサージローション				コントロール			
	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH	水分量 (%)	油分量 (%)	弾性	pH
0	30.3 ±2.3	23.0 ±1.0	50.3 ±0.6	5.4 ±0.2	30.7 ±1.5	23.7 ±1.2	50.3 ±1.5	5.3 ±0.2
1	56.0 ±2.5	33.3 ±2.1	60.3 ±1.5	4.8 ±0.1	51.7 ±3.8	28.7 ±0.6	57.0 ±1.0	5.0 ±0.1
2	60.0 ±1.0	33.3 ±1.5	67.0 ±3.5	4.7 ±0.2	55.7 ±2.1	28.3 ±1.5	60.3 ±1.5	5.0 ±0.1
3	61.3 ±1.5	34.3 ±3.1	71.0 ±1.0	4.9 ±0.1	55.0 ±1.7	30.0 ±1.0	63.7 ±3.8	5.1 ±0.2
4	62.0 ±1.0	33.7 ±1.5	71.3 ±2.1	4.9 ±0.1	51.7 ±3.8	30.0 ±1.0	65.3 ±2.5	5.0 ±0.1

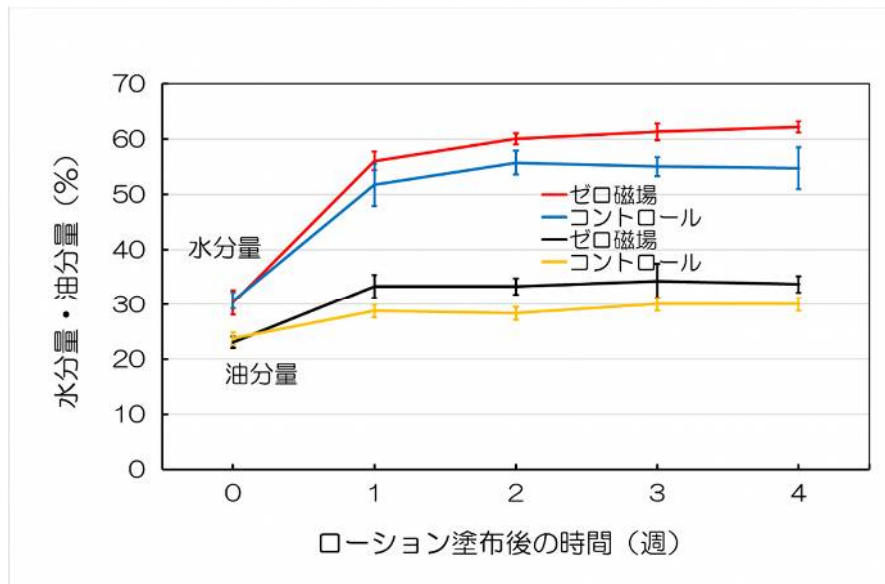


図 1-4. マッサージローションを塗布した時の頬の水分量と油分量の変化 (長期)

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

#### 《長期 (4 週間) のまとめ》

長期ではゼロ磁場全化粧水とゼロ磁場マッサージローションの効果がコントロールと比較すると顕著に表れていた。4 週間 1 日一回の塗布で被検者の乾燥肌は健康肌に回復していた。特に、ゼロ磁場全化粧水とゼロ磁場マッサージローションの塗布では、水分量および油分量は最適な状態を保っていた。

## <実験 2>

試験項目 筋肉の硬度測定

供試試料 ゼロ磁場全身化粧水、全身化粧水（コントロール）

ゼロ磁場マッサージローション（ラベンダー）、

マッサージローション（コントロール）

ゼロ磁場ルームミスト（檜）、ルームミスト（コントロール）

測定条件 ①測定日時 令和3年12月19日～令和4年1月19日

②温湿度 20.1℃ 53%

③被検者 41歳女性

④測定機器 サトテック 筋肉硬度計 TDM-N1 DX

⑤測定部位 左右の肩

⑥測定回数 供試試料とも各肩でそれぞれ3回測定し、その平均と標準偏差を求めた

測定方法 供試試料塗布前の肩の筋肉に硬さを測定し、塗布30分と60分後の肩の筋肉の硬さを測定した。

## 結果

2-1. ゼロ磁場全身化粧水を塗布した肩の筋肉硬さを測定し、表2-1に示した。

表 2-1 ゼロ磁場全身化粧水を塗布した時の肩の筋肉硬さ

測定時間 (分)	全身化粧水		マッサージローション		ルームミスト	
	ゼロ磁場	コントロール	ゼロ磁場	コントロール	ゼロ磁場	コントロール
0	30.0±2.0	30.0±1.0	31.7±1.5	31.3±2.5	30.3±1.5	31.3±2.1
30	20.0±1.0	23.0±1.0	19.3±0.6	24.0±1.0	20.3±1.5	24.7±2.1
60	19.7±2.1	24.7±1.2	18.3±1.5	22.7±1.5	20.3±0.6	25.0±1.0

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

## 《筋肉（肩）硬さのまとめ》

被検者は子育て等で軽い肩こりを感じていたが、磁場全化粧水とゼロ磁場マッサージローションおよび磁場ルームミストを塗布すると軽減したと話していた（被検者の感想）。硬さ試験の結果でも硬さは低減していた。

### <実験3>

試験項目 電気伝導率と総溶解固形物濃度測定

供試試料 ゼロ磁場精製水、一般精製水（コントロール）  
ゼロ磁場全身化粧水、全身化粧水（コントロール）

測定条件 ①測定日時 令和3年12月19日～令和4年1月19日

②温湿度 20.3℃ 53%

③測定機器 HMデジタル社 COM-80S ハイドロテスター

④測定回数 各条件で3回測定し、その平均と標準偏差を求めた

測定方法 供試試料の電気伝導率（EC）と総溶解固形物濃度（TDS）を測定した。

### 結果

3-1. ゼロ磁場精製水の電気伝導率と総溶解固形物濃度（TDS）を表3-1に示す。

表3-1 ゼロ磁場精製水の電気伝導率と総溶解固形物濃度（TDS）

電気伝導率（ $\mu S$ ）		総溶解固形物濃度（ppm）	
ゼロ磁場精製水	コントロール	ゼロ磁場精製水	コントロール
0 $\pm$ 0	0 $\pm$ 0	0 $\pm$ 0	0 $\pm$ 0

3-2. ゼロ磁場化粧水の電気伝導率と総溶解固形物濃度（TDS）を表3-2に示す。

表3-2 ゼロ磁場全身化粧水の電気伝導率と総溶解固形物濃度（TDS）

電気伝導率（ $\mu S$ ）		総溶解固形物濃度（ppm）	
ゼロ磁場全身化粧水	コントロール	ゼロ磁場全身化粧水	コントロール
327 $\pm$ 1	370 $\pm$ 1	156 $\pm$ 1	185 $\pm$ 1

尚、本測定結果は供試試料および測定環境下での値であり、全ロットについての結果を報告するものではありません。

### 《電気伝導率と総溶解固形物濃度測定のまとめ》

電気伝導率と総溶解固形物濃度はゼロ磁場精製水および一般精製水（コントロール）共に検出限界以下であった。しかし、化粧水ではゼロ磁場化粧水とコントロールにおいて電気伝導率と総溶解固形物濃度共に差が見られた。